

厚木愛甲環境施設組合事業懇話会先進施設視察

平成 23 年度第 2 回懇話会は、厚木愛甲環境施設組合が計画をしている中間処理施設の一つである、シャフト炉式ガス化溶融方式を採用し、平成 20 年 3 月より、ごみ処理、環境対策、再資源化、余熱利用等について先進的に取り組んでいる、静岡県の「袋井市森町広域行政組合中遠クリーンセンター」の視察を行いました。

当日は、概要説明及び施設内の見学後、環境対策や施設の運営に係る活発な質疑が行われました。また、隣接する余熱利用施設「風見の丘」の館内施設をあわせて見学しました。

- 1 日 時 平成 23 年 10 月 21 日 (金)
- 2 参加者 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会委員 9 人

中遠クリーンセンター施設概要

施設名称	袋井市森町中遠クリーンセンター
所在地	袋井市岡崎 6635 番地の 192
竣工	平成 20 年 3 月
処理量	132 t / 24h (66t / 24h × 2 炉)
炉形式	シャフト式直接溶融炉
建物構造	地下 1 階、地上 4 階
	建築面積 3,580 ㎡
	延べ面積 7,797 ㎡
人口	袋井市 87,020 人
	森町 19,239 人
	合計 106,259 人



【主な質疑応答】

Q . 管理運営に係る年関係費について

A . およそ7億円前後である。

Q . 建設に当たっては、短期間で完成された様子(計画策定平成10年、平成18年着手、平成20年完成)であるが問題はなかったのか

A . 説明会を重ね、理解を得ることができた。環境基準については、他に比べかなり厳しいものとなっている。

Q . 他の候補地は検討をされたのか

A . 十分な説明を行ってから候補地の決定をしており、比較的円滑に決定することができた。

Q . 最終処分場の位置と距離について

A . 最終処分場は森町にある。車で30～40分程度のところにある。袋井市、森町、磐田市の2市1町で組合を組織している。10年程度で容量を満たす予定である。

Q . 1日の搬入量について

A . おおよそ70トン程度である。多い日では400台程度の車両による搬入もある。平均的には平日の9時から5時までで300台程度の搬入車がある。

Q . 管理する立場からのシャフト炉運用のメリットについて

A . 搬入量の5%を資源化することができる。スラグとメタルは、トン当たり150円で売却することができる。